

平成27年度 公の施設目標管理型評価書

施設名	老人デイサービスセンター小須戸		
管理者名	新潟市社会福祉協議会	指定期間	平成27年4月1日 ~ 平成32年3月31年
担当課	秋葉区 健康福祉課		
所在地	新潟市秋葉区小須戸3870番地6		
根拠法令	老人福祉法		
設置条例	新潟市老人デイサービスセンター条例		
施設概要	(1)開設月日（建築年）：平成7年4月1日 (2)施設規模：鉄筋コンクリート造平屋建／敷地面積 4,998.64 m ² ／延床面積 581.95 m ² (3)施設内容：食堂・機能訓練室・静養室はワンフロアー，相談室，浴室，事務室，厨房，福祉機器展示室，トイレ (4)定員：（介護予防）通所介護：30名 (5)休館日：1月1日～1月2日 (6)開館時間：午前8時30分から午後5時まで (7)サービス提供時間：午前9時から午後4時10分まで		

施設設置目的
老人の健康な心身の保持と安定した生活の維持を図るため，老人福祉法第15条第2項の規定に基づき，老人デイサービスセンターを設置する。

管理・運営に関する基本理念，方針等
<p>【管理運営に関する基本的事項】</p> (1) 高齢者の健康な心身の保持と安定した生活の維持を図るために設置された施設であることを十分に認識し，設置目的に沿った管理運営を行う。 (2) 公の施設であることを認識し，市民の平等利用が確保されるように公平な管理運営を行う。 (3) 効果的・効率的な管理運営を行い，経費の削減に努める。 (4) 利用者や地域住民の意見を管理運営に反映させる。 (5) 利用者からの苦情を解決する体制を取り，サービスの向上に努める。 (6) 近隣住民や他の組織，事業者と良好な関係を維持する。 (7) 省エネルギーに努めるとともに，廃棄物の発生を抑制し，環境に配慮した管理を行う。 (8) 個人情報の保護を徹底し，その取り扱いを適正に行える体制を整える。 (9) 法令等を遵守した管理運営を行う。

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	利用者満足度	利用者アンケートでの満足度80%以上	2月に全利用者に実施。	A	利用者アンケートにおいて80%以上の満足度を達成している。
	苦情・要望に対する対応	1週間以内に対応	対応マニュアル等に基づき、早期に対応している。	A	苦情・要望には直ぐに対応を実施。再発防止策も検討し、職員間で周知し対応している。
財 務	※公設民営、介護報酬で運営さえているため、委託料なし				
業 務	事件・事故等発生時の対応の適切さ	・対応マニュアル等の有無 ・避難訓練等の実施 (年2回以上)	・対応マニュアルに従い対応を実施。 ・避難訓練は年2回実施。	A	事故の再発防止策も検討し実施している。
	個人情報保護の徹底	・対応マニュアル等の有無 ・個人情報保護の遵守	職員研修も行いマニュアルに基づき、個人情報の保護を徹底している。	A	職員から誓約書への署名も実施。個人情報保護を徹底している。
	管理運営者としての適切さ	行政機関からの指導監査等における指摘事項の有無	業務委託業者への支払いの遅滞	A	遅滞は、業者の請求遅れによるものであるが、支払いのチェック体制を強化することが望ましい。
	業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	各事項において遵守している。	A	業務仕様書の遵守は実施している。
人 材	適切な人員配置	基準以上の職員数の配置	適正な人員配置にて運営を実施している。	A	適正な人員配置はできている。
	職員の資質向上の取り組み	技能・技術を維持向上するための研修の実施	各種の研修に参加した職員による施設内での復命研修も実施し全職員で資質向上に努めている。	A	各職種でも研修を実施し技能・技術の向上が図られている。
指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)					
<p>利用者が講師となり地域住民、小中学生を対象とした『昔ながらの料理教室』を実施し、長年培ってきた経験を若い世代へ伝承する活動に力を入れてきました。他には介護職員、看護職員による介護者教室を開催し、介護者の心理面、健康面に焦点を当て身近な問題や悩み等の情報交換ができる場を作り、介護者の方々から大変好評を得る事ができました。サービスの利用に繋がりにくい方、短時間の利用希望の方など積極的に受入れ、地域の関係者からも信頼をいただいています。職員研修については、法人全体で取り組み資質向上に努めています。事業所広報では、2015komachi「新潟の介護がよくわかる総合ガイド」に掲載をしています。また、施設管理では、ご利用者が常に快適に過ごせるよう随時修繕等実施しています。</p>					
所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)					
<p>利用者アンケートにおいて高い評価を得ている。利用者が講師となり地域の小中学生を対象とした講座を実施し積極的に世代間交流を図り、利用者が長年培ってきた経験を次世代に受け継ぐ活動は、高齢者の生きがい保持と社会参加に大いに貢献している。また、介護者教室を開催するなど介護者が意見交換や交流できる場を設けることにより、介助者の抱える不安や悩みの解消につながっていると思われる。職員研修については、法人全体で取り組み資質向上に努めている。</p>					